

校訓「進取創造」



わかむぎ

コミュニティ・スクール

昭和町立押原中学校

令和4年9月20日発行

No.5

明るく・楽しく・前向きに

発行者：校長 柴 茂生

ホームページ URL : <http://oshi-jhs.sakura.ne.jp/seito/blog.cgi>



第58回若麦祭 ～超新成～

3年ぶりの2日間の開催となった「若麦祭」。今年度は、文化の部（1日目）での学級・学年合唱と学級・ブロック対抗による体育部門（2日目）を実施しました。プログラムにも書きましたが、コロナ禍の中、さまざまな制限があり、気持ちが沈みがちになる学校生活。その中で、今できること、これからできることを創造し、実行する力の源が押中生の若くたくましい力「押中魂」。そして、校訓「進取創造」でこれからの新しい押中を創造し、創っていくことへの願いを込めたテーマ『超新成』を見事に表現することができました。

押中生は、人生で一番大きな成長ができる青春の真っ只中にいます。この若麦祭に向けて、それぞれのクラスや学年において合唱や競技の練習を積み、一つの目標に向かって大変な努力をされたと思います。苦勞や困難が大きければ大きいほど達成した時の喜びや感動はそれだけ大きなものになります。この経験が皆さんを成長させることになるのです。この若麦祭を通して、クラスの仲間との絆を深め完全燃焼する。そして、生きているこの瞬間が最も美しいと感じる「素晴らしい青春の思い出」を創る事ができたと思います。



1日目は、生徒会のパフォーマンスによる開祭宣言ではじまった「第58回『若麦祭』」各学年・学級合唱で美しいハーモニーを響かせてくれました。昨年できなかった学年合唱は、とても感動的であり合唱の良さを再確認することができました。特に3年の学年合唱は、スケールの大きな合唱で感動的でした。最後は全校589名と56名の教職員によるの「全校合唱」で感動の1日目の幕を下ろしました。今年も、山梨県の合唱指導の第一人者である 落合節子 先生には何度も本校へ足を運んでいただき、生徒たちの合唱を指導していただきました。落合先生からは各学年・学級合唱の講評をしていただきました。暖かい励ましの言葉と練習で成長した点、これから課題をお話していただきました。

2日目は、全校種目の長縄跳びからスタートしました。どの学級も普段の練習の成果が十分発揮され、好記録が出たようです。学年種目や今年の生徒会の柱になぞった「SDGsリレー」や懐かしの「玉入れ」など、学級やブロックのチームワークを発揮することができました。迫力の「全校ソーラン」は、指先まで全集中での演技を見せてくれました。



今年度の若麦祭は、保護者の参観ができるように努めました。しかし、コロナ感染対策のため、会場の制限や見学場所の指定などご協力をお願いしました。ありがとうございました。閉祭式を含む2日間の若麦祭は、後日、保護者限定のYouTube動画での配信を行います。動画をご家族で観ていただき押中生589名の躍動と情熱をぜひご覧ください。

文化の部

(9月15日)



1年



1-1



1-2



1-3



1-4



1-5



1-6



2年



2-1



2-2



2-3



2-4



2-5



2-6



3年



3-1



3-2



3-3



3-4



3-5



3-6



全校合唱

体育の部

(9月16日)



応援



SDGsリレー(ブロック)



玉入れ(ブロック)



ビッグウェーブ(ブロック)



押中ソーラン



全員リレー(1年)



全員リレー(2年)



全員リレー(3年)